

## 2023（令和5）年度 学校法人福島聖心学園各幼稚園の事業報告書

### 【二本松カトリック幼稚園】

当幼稚園における2023（令和5）年度の事業内容につきまして、下記のとおり報告いたします。

#### 1. 項目別

項目	計画（=Plan）	実行（=Do）/評価（=Check）	改善（=Action）
目的 （園則より）	この幼稚園は、学校教育法第22条及び23条に従って幼児を保育する。キリスト教精神に基づき、幼児に適当な生活環境を与え、心身の正しい発達を助長すると共に、道徳的心情、将来の善良なる社会人としての健康と徳性の基礎を作り、家庭教育を補うことを保育の目的とする。	幼稚園教育要領等に基づき、「感動する心、感謝する心、祈る心、共に生きる力」を育てる教育活動を実施した。園児一人ひとりを大切に保育にあたり、特に地域の教育資源を生かし、特色となる取り組みに心がけた。2023年度の定員充足には及ばなかったが、卒園児、地域住民に深く愛され、地域に開かれた幼稚園として目的を果たしている。	2024年度についても、カトリック的教育目標に添って職員の連携を一層強化しながら、更なる教育の充実を図り保育を進める。更に、その充実した内容が広く周知されるよう取り組んでいく。定員充足に向けて、預かり保育の充実、園バス運行等の新たな試みをする。
年間行事について	積み重ねと継続を大切にし、各種行事を遂行する。予定の詳細については、幼稚園の年間行事予定表を作成し公表する。	コロナウイルスが、5月より5類感染症に移行したことに伴い、この方針に基づいて行事の見直しを行った。始業式等は密にならないよう注意して実施したが、運動会に関しては、保護者の来園の制限をやや緩和し、全クラスでの実施とした。その他の行事も感染には留意しつつ、コロナ禍以降の実施を模索した。  ※主な行事 ・祖父母参観（新規）	コロナ禍後を見据えた、行事の再考が必要になる。積み重ねと継続を大事にしつつ、一つひとつの行事の在り方を検討しながら取り組んでいきたい。  運動会や遠足、サマー体験を始め、コロナ禍で縮小してきた行事は、単に元に戻すのではなく、園児への教育効果を検証しつつ、新たな方向性を見出す一年になる。  ※主な行事 ・親子遠足（新規）、祖父母参観

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会・避難訓練（各月）</li> <li>・始業式・入園式（4月）、マリア祭（5月）、水泳参観（6月）、夏祭りごっこ・七夕のお祝い・年長サマー体験（7月）、運動会（9月）、遠足・人形劇鑑賞・おまつりごっこ・ハロウィンパーティーイ（10月）、七五三のお祝い（11月）、クリスマス会（12月）、なわとび大会・買い物体験（1月）、豆まき・お店屋さんごっこ（2月）ひな祭り会、卒園式・修了式（3月）</li> <li>※日常の活動として</li> <li>・リトミック・英語教室・体育教室・水泳教室</li> <li>・課外（体育・造形・水泳）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会・避難訓練（各月）</li> <li>・始業式・入園式（4月）、マリア祭（5月）、水泳参観（6月）、夏祭りごっこ・七夕のお祝い・年長サマー体験（7月）、運動会（9月）、遠足・人形劇鑑賞・おまつりごっこ・ハロウィンパーティーイ（10月）、七五三のお祝い（11月）、クリスマス会（12月）、なわとび大会・買い物体験（1月）、豆まき・お店屋さんごっこ（2月）ひな祭り会、卒園式・修了式（3月）</li> <li>※日常の活動として</li> <li>・英語教室・体育教室・水泳教室</li> <li>・課外（体育・造形・水泳）</li> </ul>
新規事業について	未就園児クラスの実施	「子育て支援」の一環として、未就園児クラブ「ぴよぴよクラブ」を実施した。	未入園児クラブを実施・活性化する。新入園児の確保と、子育て家庭の育児サービスに今後も寄与したい。
	施設点検の実施	非構造部材の耐震化点検、施設内設備（遊具等）の安全点検をチェックリストにして実施した。	危機管理の視点から、園児の安全のために、点検、施設内設備を継続したい。
	職員室 LAN ケーブル配線作業及び無線 LAN 設備	職員室 LAN ケーブルの不具合を解消するために整備した（事業計画の「事務机」からの目的変更）	事務仕事の効率化に利用したい。
	園庭遊具の設置	滑り台・うんていが老朽化し再三にわたり指摘されたので、総合遊具「フォレストシリーズ ていんば-」を設置した。	新しい遊具も含めて、園児が安全に遊ぶことができるよう留意したい。点検・整備を徹底する。
	かがくタイム授業の導入	年長時の科学的思考力の萌芽を助けるため、年3回実施した。	興味を持つきっかけになるよう、年3回を目安に今後も実施していきたい。
	跳び箱・ロイター板の購入	跳び箱の老朽化に伴い一式購入した。	体育時に有効に活用したい。

	ノートパソコンの購入	園長用・事務職員用のノートパソコンが老朽化したので新機種に交換した。	事務能力の効率化に努めたい。
	パソコンデータ保守に係るセキュリティ強化対策装置導入	園内のパソコンに関するデータのセキュリティ強化を今以上に図るための機会を新規導入した。	セキュリティ強化のために利用していきたい。
	防災頭巾	園内地震等万が一の備えのため、新たに子供用防災頭巾（アルミ・パッケン）を購入した（R5 施設機能強化推進加算に係る備品）。	地震に関する避難訓練の際に使用している。逐次訓練を実施したい。
	ホームページ新規作成	次年度実施に向けて作成作業を行った（R6 事業として実施）。	本園ホームページが刷新されるので、有効に運用していきたい。
	幼稚園バス導入	次年度導入に向けて車の手配、希望者の把握、時刻表の作成等を行った（R6 事業として実施）。	幼稚園バスを安全かつ確実に運行する。
	駐車場整備工事	次年度園バスの導入に向けて、駐車場の整備作業を行った（R5 特別予算）。	駐車場を有効に活用する。保護者、外来者のためにも整備する。
	カラー複合機借り換え	カラー複合機のリース期限が近づいたため借り換えの契約を行った。	事務作業を効率的に進めるよう活用する。
	体育指導者変更	次年度、よりよい体育活動ができるよう、コスモスポーツクラブとの契約に向けて準備する。	体育活動の基本のみならず、礼儀・動き方等を会得するように実践的な活動をする。
教職員の資質向上について （含研修等への参加）	特別支援教育研修	カトリック幼稚園として、いわゆる発達障害等の園児も受け入れていることから、子ども理解と対応のノウハウを身につけるため外部講師において頂き、講義、また園児への対応を実践した（計6回）。	外部講師を迎えての研修は、講義によって発達障害の理解が深まるとともに、個々の園児の支援に直接繋がるものとなった。今年度はその経験を生かして保育に役立てたい。
	保育実践研修	幼児教育研究会による研修会に、教員が計画的に参加	研修会に参加したことで終わってはならない。研修の

		した。また、本学園主催の研修会に全員が参加（8月3日）、カトリック幼稚園の研修会（8月22日）に参加し、自己研鑽に努めた。	成果を実際の保育に生かしていくことが大切である。また、研修会には具体的目標をもって参加することにした。
	学校評価（自己評価=教職員）の実施	学校評価シート（自己評価）により、社会人として、園の理念・方針の理解、教職員としての各観点で評価を行い、資質向上に努めた（年3回実施）。	自己評価にとどまることなく、幼稚園、また学園全体の評価（含第三者評価）を上げていく必要がある。教職員が現況を見つめ、切磋琢磨していけるようにしたい。
その他	二本松カトリック幼稚園の地域への理解促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二本松市の子育て支援と協働</li> <li>・関係機関との連携</li> <li>・地域社会との連携</li> </ul>	<p>今後も地域社会に認められる園をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二本松市の子育て支援と協働</li> <li>・関係機関との連携</li> <li>・地域社会との連携</li> </ul>

## 2. 総括

前年度は園長や教員が退職した中で、新体制でのスタートになった。まず、園児の安全・安心を守ることを第一に考え、保護者証の導入、登園・降園方法の改善等を行った。また、5月に新型コロナウイルスの感染症が5類に変更されたのを契機に、コロナ禍後の幼稚園のあり方を模索する一年間であった。運動会など学年別ではなく合同で行う行事も増え、保護者が園に入る機会も増えた。保育活動では、担任を始めとする教職員が子どもたちに寄り添いつつ、園長、主幹教諭、教務主任を中心に全員で話し合いながら進めることにした。感染症を含め危機管理を第一に考え、日々の保育、行事等をほぼ予定通りに実施できたことが成果だったと思われる。大きなけが等がなく保育できたことは幸いだった。

前年度から、コロナ禍後を見据えた園運営に当たってきた。今年度もその継続が課題になる。園運営は、コロナ前にすべて戻すのではなく、それぞれを吟味し新しいものにしていく必要があるだろう。教職員でよく話し合ったうえで、より良い園運営になるよう、園長としてもリーダーシップを発揮したい。カトリック幼稚園としての在り方を再考して、より良い園環境を作ると共に、教職員が切磋琢磨して保育の質の向上に努める必要がある。学校評価シートはその指針になると考えられるので、効果的に運用したい。

2024年度の新規入園者も前年同様少なかった。次年度は入園者が多くなるよう努力したい。その対策として、新たに幼稚園バスの導入、土曜日預かり保育（隔週）を実施する。それらが効果的に行えるよう努力したい。また、職員の働き方の向上も目指したい。